

2025 年 6 月 25 日

報道関係各位



福井放送様より 4K/HD ポータブルカメラシステム UHK-X700 を受注

－ IP サブシステムに接続するスタジオカメラとして導入 －



池上通信機株式会社は、福井放送株式会社（以下、福井放送）様より、他社製の IP 対応制作サブシステムおよび報道サブシステムとの接続を可能にしたスタジオ運用と、既存の中継車での運用に最適なカメラとして、IP/SDI の両方式に対応可能な 4K/HD ポータブルカメラシステム「UHK-X700」を受注しました。福井県内の地上波民放局におけるスタジオ用 4K カメラシステムとしては、これが初の導入*となり、納入は 2025 年 10 月を予定しています。また、運用開始は、制作用の TV スタジオが 2026 年 3 月予定、報道用の J スタジオが 2026 年 7 月予定となります。

福井放送様は、制作・報道サブシステムの更新において、従来使用してきた SDI から MoIP への移行を決定されました。その IP サブシステムに接続するスタジオカメラとして、MoIP 標準規格 SMPTE ST2110 に準拠した「UHK-X700」を選定いただきました。IP システムとの親和性に優れていること、2/3 型グローバルシャッター方式 3CMOS センサー採用によりローリングシャッター歪みやフラッシュバンドのない自然な 4K 高画質映像を再現していること、重量バランスが良く運用時カメラマンの負担が少ない点等を評価いただきました。ベースステーションには、オプションの MoIP インターフェースを搭載することで IP 接続を可能とし、さらに、既存の当社製カメラシステムの有効活用も考慮し、SDI での運用も可能な「BSX-100」を選定いただきました。

また、IP ネットワークを通じて当社の放送用カメラの操作や各種設定等を PC 上から統合管理するアプリケーション「バーチャルマスターコントロールパネル：VMP」もご採用いただきました。使い勝手の良いインターフェースで、外部からのカメラの制御やメンテナンス、カメラ情報監視を可能にしています。

福井放送様には、これまで長きにわたり、カメラシステムをはじめとする数多くの製品をご使用いただいております。納入後も安心して長く運用いただけるよう、ベストエフォートを基本とする当社の保守サービスに対する姿勢もご評価いただいた点のひとつと考えています。

池上通信機は、これからもお客様の制作環境や運用の効率化など、さまざまなご要望に対応した最適なシステムを提案し、次世代の放送システムを構築するための取り組みにも注力してまいります。

* 2025 年 6 月現在。当社調べ。

【主なシステム構成】

●テレビスタジオ（制作スタジオ）

4K/HD ポータブルカメラシステム UHK-X700×4 式

ベースステーション BSX-100(4K/HD マルチ)× 4 式* MoIP インターフェースはオプション

オペレーションコントロールパネル OCP-300×4 式

バーチャルマスターコントロールパネル VMP×1 式

●Jスタジオ（報道スタジオ）

4K/HD ポータブルカメラシステム UHK-X700×1 式

ベースステーション BSX-100(4K/HD マルチ)×1 式* MoIP インターフェースはオプション

オペレーションコントロールパネル OCP-300×1 式

●中継車用

ベースステーション BSX-100(4K/HD マルチ)×2 式

オペレーションコントロールパネル OCP-300×2 式

▼福井放送株式会社様の website はこちらです。

<https://www.fbc.jp/>

《お問い合わせ先》

●池上通信機株式会社 営業・マーケティング本部 プロモーション室

Tel : 03-5748-2216

Fax : 03-5748-2200

E-Mail : smprm@ikegami.co.jp